

①



3logue：「スパーブ」な入口・・・振動？

二坪：10月に玉ノ井の木曾川近くに出現した「スパーブ」へ行きましょう。ここも、口開けて、待ってますよ。獲物を狙って。①

ノコ：ちょっとおかしくないですか？ ノコギリヤネなのに、屋根の両端が斜めになって・・・

二坪：面白いでしょ。「これはノコギリヤネではない」なんてね。まあまあ、入りましょう。②

②



ノコ：初めて足を踏み入れた時、まだ1回しかないけれど、ここも衝撃的でした。まず、正面にノコギリヤネの構造的特徴が一目瞭然で圧巻です。そして、視線を落としていくと、マウンテンバイク、テントなど、アウトドアスポーツ関連のグッズから、バーカウンターらしきものまで。

二坪：そう、最初に発した言葉が、「ここ何屋さん？」。商品の販売というより、ライフスタイル、生活の物語を陳列しているというか。それとね、常に“振動”しているんですよ。来るたびに違うんです。それは、商品の入れ替えという範疇には収まらない何かなんです。③

③



ノコ：そんな、“振動”なんて・・・、ホンマや！なんてね。確かに、初めて見た時と、全然違う。「のこぎり二」の“うつほ”とも違う。振動、流れ、時流・・・、なんだろう？

④



二坪：スノーボーダーでもある店主の感覚かもしれません。雪山の起伏は常に変動します。それを体を感じるままに受け止める。それがこの空間に投影されているのではないかと。

ノコ：うまい。では、本日の👍 「これはノコギリヤネではない」の疑問は残るけど。

二坪：えっ。夜も更けました。そろそろ、おいとましましょうか。④ (続くかな)